

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○10月3日～

先週も市場は不安定な動きとなりました。

英国が量的金融引き締め（QT）を延期し、英国債を買い支えたことでポンド安もおさまりましたが債券市場に激震が走ると金融危機になりかねないため心配です。

日銀とイングランド銀行の介入で為替市場も乱高下しているため慎重に取引したいです。

そして、米国株価指数が軒並み安値更新し、6月安値を割り込んできました。

ドル高、株安トレンドが鮮明になっています。流れに逆らわないように取引したいです。

中国は、今週は国慶節のため市場は休場となります。

<ドル/円>

ドルは144円台での狭い動きが続いています。

介入警戒感から145円あたりでは上値が重い状態が続いています。

下値も堅く、下がれば買いが入りやすい状況です。押し目買いを狙っていきたいです。

<気になるクロス円>

クロス円は動きがばらばらです。ユーロとポンドは抵抗まで戻したので再下落のリスクも。

オセアニア通貨やカナダドルなどは下げ止まってない状態なので、安値更新の動きに注意。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では日銀短観（7-9月期）、9月東京都区部消費者物価指数などがあります。

米国では9月製造業PMI（改定値）、9月ISM製造業景況指数、9月ADP雇用統計、8月貿易収支、9月サービス部門・総合PMI（改定値）、9月ISM非製造業景況指数、前週分新規失業保険申請件数、9月雇用統計の発表などがあります。

欧州ではユーロ圏とドイツで9月製造業・サービス業PMI（改定値）、8月小売売上高、ユーロ圏で8月卸売物価指数、欧州中央銀行（ECB）理事会議事要旨、ドイツで8月鉱工業生産などがあります。

ほかにはオーストラリアとニュージーランドで政策金利の発表などがあります。